

[理事長挨拶](#)[機構概要](#)[動画「いのちを守る
記憶をつなぐ」](#)[事業概要](#)[研究活動への寄附](#)[関連リンク](#)

募集・イベント・お知らせ

news

募集 研究調査助成事業(若手研究者育成枠)の募集について

当機構は、阪神・淡路大震災の教訓から得た21世紀の成熟社会の基本課題である安全・安心なまちづくり、共生社会の実現を図るため、総合的なシンクタンクとして調査研究を進めるとともに、諸課題について政策提言等を行うことを目的としています。

そこで、そのミッションを踏まえた視点を持ち、政策形成に資する研究調査に対して助成しますので、ご案内させていただきます。

記

1. 申請受付期間 令和8年4月1日(水)から5月15日(金)まで(※必着)

2. 申請書類

実施要綱の様式1-1「研究調査助成事業応募申請書」をご活用ください。

(なお、応募申請書以外の様式については、添付していません)

3. 助成対象となる研究

(1) 南海トラフ地震等の巨大災害による被害の軽減や早期の復旧・復興のための課題解決、事前防災にいかに取り組むかという視点から行う研究

【研究テーマの例】

- ・防災・減災体制の整備
- ・自助・共助の仕組みづくり
- ・社会インフラの老化化対策
- ・防災に役立つ技術開発
- ・自然環境と防災を両立させるまちづくり等

(2) 人口減少・少子高齢社会における新しい価値の創造、技術の開発に資する研究

【研究テーマの例】

- ・AI技術等を活用したデジタル化の推進
- ・人口減少等に対応した関係人口づくり
- ・医療・福祉の人材不足対策
- ・起業支援・新しい働き方
- ・教育×デジタル(次世代の育成)
- ・環境・サステナビリティ×地域経済
- ・観光×テクノロジー(新しい体験)等

4. 助成対象者

別添の実施要綱「3助成対象者の要件」の(2)若手研究者育成研究枠を参照

① 代表機関の要件

- ・兵庫県内に立地する大学・研究機関等であること
- ・科研費応募の機関番号を持つこと

② 研究代表者の要件

- ・40歳未満(令和8年4月1日時点)で、主たる勤務地が兵庫県内であること
- ・兵庫県の大学・研究機関等に有期雇用(任期付き雇用)されていること(週あたりの雇用形態は常勤、非常勤を問わない)

・科研費の応募資格(研究者番号)を持っていること

・researchmapで研究実績を確認できること

・研究代表者のみの単独研究でも構わない

③ 兵庫県外の大学・研究機関等も共同研究機関として参画できる

④ 採択額の20%の間接経費を別途配分する

(なお、DRA構成団体には間接経費は配分を行わない)

- ⑤ 助成金総額の3分の1を上限に共同研究機関への分担も可能とする
 - ⑥ 共同研究者に40歳以上の研究者を含むこともできるが、その者に対しては研究費の分担・支出はできない
 - ⑦ 研究代表者は、助成を受けた研究内容について、学会、論文（査読、未査読は問わない）などにより、助成終了後に公表を行うこと
 - ⑧ 年に2回程度、当機構が主催する研究推進会議において研究の進捗状況を報告すること（対面、またはオンライン）
- 以上の要件を満たすこと

その他の詳細及び応募書類については、
(<https://download.transfer.henngo.com/zNgVLkvRZ9dqrC>)を参照ください。

事務局：〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号
財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
研究戦略センター 研究調査部 研究調査課
TEL：078-262-5570
FAX：078-262-5593

[最新情報一覧へ戻る](#)

- TOP
- 理事長挨拶
- 機構概要
- 事業概要
- YouTube動画
- 業績評価
- 研究活動への寄附
- 研究戦略センター
- 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
- 兵庫県こころのケアセンター
- ニュースレター・研究レター・各種出版物
- 募集・イベント・お知らせ
- 関連リンク
- お問い合わせ・アクセスマップ
- プライバシーポリシー
- サイトマップ

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号(人と防災未来センター 東館6階)

TEL078-262-5580 FAX078-262-5587

©2010公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 Allrights reserved.